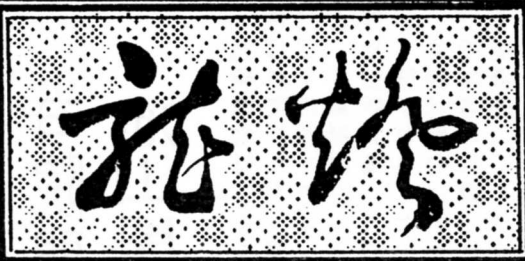


第 4 1 号

発行所 大阪市史跡 龍溪禪師墓所
 靈 亀 山 九 島 禪 院
 〒550-0022大阪市西区本田3丁目4-18
 ☎06-6583-2725
 発行人 住 職 奥 田 啓 知 (智證)



阪神西大阪線難波延伸工事・平成十五年に着工着手！

スローライフ

がんばらない宣言

「都会的になるのが幸せか」

岩手県が提唱する「がんばらない宣言」の新聞広告に注目が集まっています。広告は総務省の全国地域情報発信事業を活用し、一昨年から開始されました。岩手県出身の宮沢賢治に大きな影響をうけた作家をめざしたという椎名誠さんを起用し、「何かしていなければ落ちつかないつねにがんばってはいないと不安になる。そんなの変だぜ現代人諸君。僕が大好きな岩手に出かけてごらん、気分のいい風と空と雲が、きらきら、ふわふわ、笑って待っているから」と呼びかけました。

経済効率重視の価値観を転換し、地域の文化を見直す「スローライフ」。「スローライフ」の運動が静かに広がっています。岩手県の広告も、その流れにのったものです。

「スロー」とは「ゆっくり、ゆったり、豊かな心」を意味しハンバーガーなどファーストフードに象徴される「早く、安く便利」という効率一辺倒の考え方を否定し、より人間らしく、

健康で、自然な生き方に立ち戻ろうとする運動なのです。

「がんばる(頑張る)」とは、苦しさに負けずに努力することを言いますが、岩手県の宣言は、どうということなのでしょう。

岩手県は、かつて乳児死亡率が全国で一番高く遅れた県でした。その汚名をはらそうと、一生懸命でした。一般に地方都市は、都会に追いつこうと、経済成長第一主義で、熊や鹿しか走らないような高速道路を作ったり、大きな文化会館を建設し、地方のもつ豊かな自然を破壊してきました。

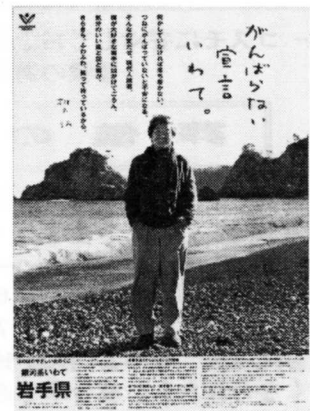
今、そのような県の知事が、なんと「がんばらない宣言」をしたのです。一周遅れのランナーが追いつこうとすることを止めてしまい、逆に、都会の猛烈な生活のなかでクタクタになっている人達に、どうぞゆっくりとして下さいと、その受け皿になりましょうと。そういう県を作ろうと宣言したのです。

都会的になることが、素晴らしい

しいことなのではなく、地方の特色をしっかりと自覚して、地方のよさを生かした努力をすることが、そこに住む人達に自信と誇りをもたらしてくれるのだと思います。日本全国が東京になっても仕方がないのです。地方には都会にはない地方のよさがあるのだから。

世界に目を転じてみても、アメリカ、アングロサクソンが進めるグローバルイゼーションが問題なのです。世界がグローバル化してアメリカ的な社会に画一されるのは間違っています。

一されるのは間違っています。精進(しょうじん)「といいますが、都会的にならないと幸福はなれないと思ひ込んだ努力は、決して仏教でいう「精進」ではありません。仏教の「精進」は(スローな)ゆっくりとした努力であり、それこそ「がんばらない宣言」がいうところの「スローライフ」そのものなのです。



当院開基

池山屋敷の八幡宮発見！

九条の地は、古くは南浦と呼ばれていたが、寛永(一六二四〜四四)の頃、香西哲雲という幕府の役人と土地の豪族池山新兵衛一吉の協力によって開かれました。

香西は開発にあたり、知人で儒学者の林羅山に、この地を衝壞島(くじょう島)と命名してもらいました。「衝」とは街・人の集まる所という意味で、池山新兵衛の旧姓の壞島の一字を冠したという説があります。また、二人は同じ頃、産土神として茨住吉神社と、池山家菩提寺である竹林寺と九島院をたてました。昨年、都島区在住の池山信勝氏が来院されました。聞けば、九島院の南西一角(本田会館の南)にあった池山家の邸宅の片隅に祀られていた若竹神社を捜されたことでした。

小柄の晋山式(平成五年)では、当院と開基を同じくする竹林寺の香西哲雲の墓を参り、稚児行列を發しましたが池山新兵衛の墓は見当たらずどうしたものかと思っていました。

同氏から、本家筋の富田寅一氏著「池山家由来記―九条島開墾及び安治川開削史」という小冊子ほか池山家に関する資料を贈ってもらいました。それによると、初代池山新兵衛は甲斐の武田信玄が、正室三条夫人の侍女として仕えていた壞島新左衛門という、武田家の下級武士の娘との間にできた子でした。天目山の戦い(一五八二)で武田一族は滅亡しましたが、信玄の血を受けていても幼く、母の素性も低かったので生き延び、壞島新三郎藤原時直と名乗りました。

池山新兵衛一吉は、文禄二年(一五九三)に生まれ、母の実家で養育されました。文武両道に秀でた彼は、長じて越前宰相松平秀康に仕え秀康亡きあと松平忠直の側近となり、忠直の行状を調べるために幕府の放った乱破(忍者)を取り押さえた褒美に、殿様より能登の豪族の美人の娘を側室として与えられたが、生真面目な彼は困惑し傷つき、また、信玄の遺児だと知る旧武田の家臣たちからの武田家再興運動にも困っており、武士を捨てて、当所に隠棲、農業に従事する事となりました。

その後のことは、昭和四十四年に先代弘志和尚が著した小冊子「龍燈」のなかで当院信者で島下八重子女史の小説「竜溪記」の内容とほぼ同じですので略します。さて若竹神社ですが、中道筋の三宅仏壇店(今は廃業)隣のA Bビル(今も路地の隙間にある非常階段横に、「若竹八幡」の木札が掛かっていた朽ちかけた祠を見つけた。送付された資料の中に「若巻・紅巻」と刻した二つの大きな石碑の写真のコピーに若竹神社と書かれていました。発見したものは、お稲荷さんの空の祠でした。たまたま「若竹八幡」と墨書された木札が残っていたので判明したのです。木札の裏には、何名かの世話人の名前が墨書されています。早速、池山信勝氏に連絡をし確認し

— コスモに安心しておまかせください。 —
 皆様の満足が私たちの喜びです。 —

葬儀のコスモ

自宅でする家族葬(15万円)より、ご予算は、ご相談させていただきます。(30・50・80・100万円〜)

コスモセレモニー 有限会社

城東社 ☎06-6964-6660 城東区中浜3-9-2
 住之江社 ☎06-6569-7705 住之江区南港4-7-21-1328

※当院檀徒 橋本嘉門氏が独立し開業されました。病院で亡くなられたら、寝台車で迎えにきてくれます。

てもらいました。恐らく、A Bビル建築の際に墓碑を撤去の上、お稲荷さんとして祠を作り、祀りつづけたのではないかと推測します。明治の初めに池山家は破産退転しましたが、郷土の恩た池山家を慕った人達によって、世話人を選出し祀りつづけたような気がします。三代目の池山信賢(河村瑞賢を助けて安治川開削に功勞)以後の墓は、天王寺区の浄土宗天然にあることも判りました。

今年こそ星野タイガース・大阪近鉄バッファローズ日本シリーズ(西大阪線対決)祈願!



檀信徒の皆さまへ

○彼岸法要に三十石船舟唄で淀川下り

今春の彼岸法要では「枚方市民劇団ザ・鍵屋」の方がたが、法要の後「淀川三十石船舟唄」のパーフォーマンスをしていただきます。

当院ご開山は、ご存じのように旧淀川河口に位置する衛壤嶋の九島院で水定死されました。二度と災害のないようにと

「九条の人柱」となれたわけです。

淀川は、三十石船が行き交い京都と大坂を結ぶ大事な交通路でした。淀川との係わりの深い当院で、往時を偲んでいただきたいと存じます。

とんび着て

事件鍵とく 金田一

相合傘句会 2/1 句題「鍵」

○扶桑印社・生徒募集

当院襖絵を製作される桂上登・劉新華先生が、扶桑印社という篆刻教室をされており、生徒さんを募集されています

稽古日①月一回 日曜 十三時から十六時まで

②月二回 日曜 九時半から十六時まで

月謝 老万円
入会金 老万円
教室 尼崎市金楽寺町一―四
電話 〇六一六四八一―八六九三
携帯 〇九〇三七〇八九九〇五

○葬儀のコスモ

当院檀徒 橋本嘉門氏が長年葬祭「芋忠」で勤務され、この度独立開業されました。良心的な方です。「もしもの時」には右頁下広告まで、ご相談下さい。特に病院で亡くなられた時には、病院指定と称して強引に葬儀申し込みをさせる悪徳業者もあり、信頼のおける方に依頼されるのが賢明だと存じます。

既報のように、本年から本堂の襖絵の製作にはいりまされ。桂上登（劉新華）画伯も、昨年より取材旅行をされる構想を練ってこられました。年賀状にも「後世に残る」ものを描きたいと、一大決心されておられます。襖絵の題材は中国の父なる大河「黄河」と母なる「長江」、中国四大聖地で、北から「五台山」「普陀山」「九華山」「峨眉山」です。以後、中国四大聖地を解説します。

中国の霊場

五台山・文殊菩薩

「五台山」は、山五つ現存二世最はさ厳が代、唐の仙や、比叡再興の寺が五台山の中

る。さかの百ある。あたの寺院二あり。清涼山（インド）に迎えた三蔵法師（四）

基礎を重源上マの、四大

祖山で 転読

平成十六年の黄蘗宗立宗三百五十年を記念して、在日華僑の人達から大般若経六百巻が奉納され、中国福建省の祖山萬福寺で四月十四日に転読法要が厳修されます。

小納も訪中団（四月十三日から二十日まで）に参加を予定しています。

● 鳶 (とんび) に 獺 (かわうそ) ?

初弘法の日、四天王寺に参詣しトンドビを買いました。鳶(とび)のことを大阪では「とんび」と呼びます。「ぴいびよろろ」と鳴く鳥ではなく、外套(がいとう)のことです。

着物のうえに羽織るダブルの袖無し的外套で、その姿が鳶の羽に似ているところから、そう呼んだそうです。探偵シャーロックホームズが来ている外套の和装版というところでしょうか。

法善寺界限を闊歩する鳶すがたの織作(作家の織田作之助)の写真を見て欲しくなり、日本橋五階百貨店近くの古着屋で探しましたが、年末にすべて切り切れたとのことでした。

川柳の会で同人の葬儀屋「森安」主人に話したところ頂戴することができ、気をよくしていました。

檀家の某氏に自慢話をしたら、鳶には獺(かわうそ)の襟巻きが付いていると言われ、「鳶に油揚げ」いや「鳶に獺」と、さっそく獺を探しに出掛けたのです。

初弘法でござった返す境内には、たくさん露天商が店を並べ、古着屋を片っ端から訪ねて歩き、やっきたと獺を吊るしている店に出会いました。獺の襟巻きとだけでは売ってくれず、鳶とセットならなりなると、鳶をもう一着手に入れることになりました。

柳兄の「らあめんやさん」の劉さんには報告しただころ「和尚は、何でも形からはいるな」と呆れられましたが、「鳶も居ずまいから鷹に見える」と、いっぱい小説家気分では悦に入っているのでも、小生だけなのかもしれません。

深夜、原稿用紙ならず、ワープロの前に鎮座して、キーを叩く音の横では、愛犬の龍(りょう)の寝息が気持ちよさそうに聞こえています。



奉納抄

六地藏前掛け寄贈

(平成十四年十二月)

大竹喜子さまより、境内基地入り口の六地藏に紅白の前掛けを頂きました。厚くお礼申し上げます。

奉納のぼりは完納。一年間奉揚します

編集後記

▼「壬生義士伝」という映画が、感動をよんでいます。浅田次郎のベストセラー小説を映画化したものです。
▼主人公は新撰組隊士の吉村貫一郎。家族を養うために、盛岡南部藩を脱藩し志願しました。家族への愛と「義」を貫きつづも、ひたすら生き延びようとする姿勢に涙を誘われました。
▼平成の大横綱貴乃花が引退しました。世間に衝撃と興奮と虚脱感を与えました

た。その引き際について「潔しよし」としない。「散り際の美学」がないとの批判も多かったように存じます。
▼吉村貫一郎と貴乃花。ともに、ポロポロになりつつも、一途に生きぬく姿勢が感動を呼ぶのではないでしようか
▼未曾有な大不況下、「何のために生きるのか」という人生最大の課題に、ひとつの答えを示唆しているように思えてなりません。
▼因みに、映画での新撰組屯所のシーンは、大本山萬福寺の法堂まえて撮影されていました。

山門会・お彼岸法要

3月23日(日) 午後1時半より

※先祖供養です。宗旨に関係ありません。ご回向お申し込み下さい。

淀川三十石船舟歌保存会の枚方市民劇団「ザ・鍵屋」の公演もあります。

ご案内

今年こそ星野タイガース・大阪近鉄バッファローズ日本シリーズ(西大阪線対決)祈願!